

## II がんの症状

がんの症状を理解し、患者さんのつらさに寄り添えるようにしましょう。

がんの症状には、大きく2つがあります。痛みや呼吸困難などのがんの局所の症状と、体重減少や疲れやすいなどの「悪液質」による全身の症状です。

「最後に痛み苦しむのではないか」「どんどん痛くなるのではないか」という心配は、痛みがない人にもある不安です。このような不安が大きくならなければ、症状は緩和ケアによって和らげることができるといわれています。

介護スタッフも患者さんの具合が日々悪くなっているのをみているのは心配でもあり、不安も大きくなります。介護スタッフの不安が患者さんに与える影響は大きいので、心配なことは医療スタッフに確認しておきましょう。

### 【がんによって起こる症状】

#### ○局所の症状（痛み・呼吸困難など）

- がん自体が周りの組織に広がることで生じる症状です。  
内臓や神経への圧迫により、痛みなどの症状が出る場合があります。  
がんが進んで呼吸機能に影響を及ぼすと、呼吸困難を生じる場合もあります。

\*がんの種類、がんの進み方によって、症状のある人とない人がいます。

#### ○全身の症状

- がんが進行すると、カロリーを摂取しても衰弱する「悪液質」の状態になります。体重が減少し、筋肉量の減少が起こり、筋力が低下し体力が急激に低下します。

身体機能の低下：立てない、起きられないなど

全身の身体症状：疲れやすい、だるさ、食欲不振、めまい、むくみなど

\*がんが進行してくると、程度の違いはありますが全員に起こってきます。